WILCOMM

<u>ウィルフォームス操作ガイド</u>

DES005 (Last Update : 2002/11/12)

WilComm AS400 V7.15 © Copyright 2000 K.I.S.S. Inc.



本解説書は、フォームデザイナーの操作につきまして解説しています。

目 次

1.フォームデザイナーの実行	4	頁
2.フォームデザイナー・メニュー / アイコンの説明	5	頁
3.新規フォームの作成	3 3	8頁
4.レイアウトの作成	4 3	3頁
5.フィールドの作成	5 3	8頁
6.フォーム作成テクニック集	8 3	8頁
6-1.複数オブジェクトの配置/サイズの均等	8 3	8頁
6-2.オブジェクトの固定(ロック)	9	7頁
6 - 3 . 単一フィールドのコピー	10	2頁
6-4.複数オブジェクトの一括コピー/移動	10	7頁
6 - 5 . テープル設定	11:	2頁
6 - 6 . 作成フォームの保管/印刷	12	0頁
6-7.WilComm からの出力イメージの確認	122	2頁
6 - 8 . ロゴの挿入	13	3頁

6-9.バーコードの作成	135頁
--------------	------

7.マッピング作業事前準備 141頁

1.フォームデザイナーの実行

フォームデザイナーは、ウィルコムのグループ製品で使用されるフォーム (専用帳票)を作成するツールです。 フォームデザイナーの導入方法につきましては、マニュアル「導入手順 書(INS001)」を参照してください。

フォームデザイナーの起動

[スタート] / [プログラム] / [WilComm Universal] / [Forms Designer]を実行 します。

Willionin Forms Designer + (Fernil) 2 2*(4 編集 表示 ユージ 医用の細胞型 数/面 オフジェ沖 王ーフル ユノルドウ ユルブ	X
19	mm
	100
2 -	
3 -	
4 -	-
	1.1

注意:フォームデザイナーで作成されるファイルの拡張子は「F3t」です。 このファイルをダブルクリックしてフォームデザイナーを実行すると 使用できない機能があります。(使用できない機能は後述参照) 実行は、ショートカットを作成しそこから実行または、上記手順に より実行するようにしてください

2.フォームデザイナー・メニュー / アイコンの説明

フォームデザイナー・メニュー フォームデザイナーの操作性はWindows に準拠しています。 MS Office 製品と同様な機能となっています。 以下の説明は、簡略に記述させていただきます。



<ファイル>

新規作成

- 新規にフォーム・デザイン画面が追加されます。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。

🎽 WilCom	m Forms	Desig	ner – [7	ストフォ	.~Д1.f3	it]						
🎽 271N	編集	表示	<u>∆</u> °−ÿ°	図形	の調整	配置	むシ	[•] ፰ንኑ	<u>デ</u> ーブル	立わりう	_ <u>∆</u> 1/7	•
्रि⊜।	3	暭(Cμ	♥ €	3 E	Q	2 9	?			
NR.	110	20	130	40	150	160	170	180	190	1100	110	1120
\backslash	Χ.											

▲ 新規作成アイコン

開く

- 保存されているフォームを開きます。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。

🎽 WilCon	nm Form	ns Desig	mer – [f	テストフォ	н−Д1.f	3t]						
🎽 2711	編集	表示	_ <u>∆</u> °−ÿ°	図形	の調整	配置	打ち	ትታት	デーブル	<u> </u> ረረንኑን	<u>∆</u> 1/7	lo.
DØ		(0	₿	3 🖻	Q	Q	?			
0	\110	120	130	140	150	160	170	180	190	1100	110	1120
	↓ 開	くア・	イコン	,								

閉じる

- 開いているフォームを閉じます。(手が加わっているのであれば 更新する / しないメッセージが表示されます。

F3 Forms				×
⚠	テストフォ	ーム1.f3t への変更	「を保存しますか?	
(II)	Ω.	(いいえ(<u>N</u>)	キャンセル	

上書き保存

- 開かれているフォームを上書き保存します。

- 画面上部の下記アイコンと対応します。



上書き保存をする場合は、必ずデザインモードで行ってください。 詳細は後述6-6「作成フォームの保管/印刷」を参照してください。

名前をつけて保存

- 開かれているフォームを名前をつけて保存します。

名前を付けて保存			? ×
保存する場所(型:	🔁 Forms	• 🖬 🐴 🖬 •	
CSV Master.f3t			
■ test.rat ■ テストフォーム1.f3	3t		
テストフォーム2.6	3t		
₩ 7±.13t			
ファイル名(<u>N</u>):	テストフォーム1.f3t	保存(S)	
ファイルの種類(工):	F3 Forms Files (*.f3t)	▼ キャンセル	

保存をする場合は、必ずデザインモードで行ってください。 詳細は後述6-6「作成フォームの保管/印刷」を参照してください。

注意:WilComm が導入されている PC Server に格納する場合は、必ず 以下のフォルダーに格納します。 ¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm Universal¥F3Forms¥Forms

WilComm が導入されていない PC でフォーム作成を行っている場合 は保存先は任意指定です。ただし、WilComm が導入されている PC Server ヘコピーを行うときは、上記フォルダーにコピーしてくだ さい。 変数の抽出

スプールファイルとフォームの重ね合わせ(マッピング)を定義するため
 に、フィールド名の抽出を行います。

詳細は後述7「マッピング作業事前準備」を参照してください。

データベース

- ODBC経由でPCに存在するデータベース(例:Microsoft Access)を 設定します。
 - (詳細についてはマニュアル「ウィルフォームス Forms Desi gner Tutorial <補足資料>(DES004)」を参照してくだ さい)

データアクセス

- ODBC経由でPCに存在するデータベース(例:Microsoft Access)を 設定します。
 - (詳細についてはマニュアル「ウィルフォームス Forms Desi gner Tutorial <補足資料>(DES004)」を参照してくだ さい)

印刷

- 開かれているフォームを印刷します。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。



印刷アイコン

フォームデザイナーで作成されたフォームを印刷する場合は、

フィラーモード(後述6-6「作成フォームの保管/印刷」参照)にて 印刷をするようにしてください。 印刷プレビュー

開かれているフォームの印刷プレビューを行います。
 フォームデザイナーで作成されたフォームを印刷する場合は、
 フィラーモード(後述6 - 6「作成フォームの保管/印刷」参照)にて
 印刷をするようにしてください。

印刷設定

- 印刷するためのプリンター、プリンターオプションを設定します。 フォームデザイナーで作成されたフォームを印刷する場合は、 フィラーモード(後述6-6「作成フォームの保管/印刷」参照)にて 印刷をするようにしてください。

プリファレンス

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

フォーム設定

- フォームの用紙サイズ、用紙向きなどを設定します。 詳細は、後述3「新規フォームの作成」を参照してください。

フィラーモード

- WilComm で処理 / 出力(送信)イメージの確認ができます。
- 画面上部の下部アイコンと対応します。



フィラーモード・アイコン

WilComm で処理/出力(送信)イメージの確認については、後述6-7 「WilComm からの出力イメージの確認」をしてください。 送信

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

ルーティングスリップの編集

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

サマリー情報

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

過去に開いたフォーム名一覧(過去4回分)

- 下記のように今までに開いたフォームがリスト表示されます。(過去4件)

終了

- フォームデザイナーを終了します。
- 以下のウィンドウの「×」ボタンも同様です。

<u>_</u>	X
_ 8	×

ラォームデザイナー「終了」ボタン フォームの「閉じる」ボタン
 - 開いてあるフォームに手が加わっているのであれば更新する / しない

F3 Forms						×
⚠	テストフォ	~∆1.f3t ∧ወ	変更を	:保存し	しますか?	
(III)	Ŵ	(いいえ(<u>N</u>)		+	ャンセル	

メッセージが表示されます。

<編集>

元に戻す

- 画面操作を元に戻します。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。

注意:元に戻るのは操作の現時点から過去1回までです。また、テーブル 編集中(テーブル編集については後述5「フィールドの作成」を参照) の元に戻るは、機能しないことに注意してください。

繰り返し

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

切り取り

- 選択されたオブジェクトを切り取ります。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。



コピー

- 選択されたオブジェクトを切り取ります。

- 画面上部の下記アイコンと対応します。 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t] 2ァイル 編集 表示 ☆ージ 図形の調整 配置 オブジェクト テーブル 2ィントウ ヘルブ □ご回 & ��� ◎ □ ♀ ♥ ● □ ♀ ♥ □ 10 |20 |30 |40 |50 |60 |70 |80 |90 |100 |110 |120 |1 ↓ コピー・アイコン

貼り付け

- 切り取り / コピーされたオブジェクトを貼り付けます。
- 画面上部の下記アイコンと対応します。

🎽 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t]	
🎽 2ァイル 編集 表示 ページ 図形の調整 配置 オフシシェクト テーブル	<u> </u>
D 🖉 🖬 🖺 🖻 ∽ ≃ 🍟 🎒 🖻 🔍 ?	
lo 10 20 / 30 40 50 60 70 80 90	1100 1110 1120 11
\checkmark	
貼り付け・アイコン	

削除

- 選択されたオブジェクトを削除します。

全て選択

- 開かれたフォームにあるオブジェクト全てを選択します。

変数の編集

- 作成済みフィールドの一覧が下記画面のように表示されます。 フィールドの編集を行うことできます。

Edit variables for a form		×
New or Selected Variable	>	
<u>N</u> ew <u>R</u> enan	ne <u>D</u> elete	Duplicate
Variable Names	_ Data Types ———	
バール//// I(ファックス)	⊙ <u>T</u> ext	🔿 Database <u>V</u> ariable
1(1-1/) I(価格) I(相格)	◯ Nu <u>m</u> ber	C Calculation
1990日/ I(区分) I(計)	◯ D <u>a</u> te	○ <u>S</u> ummary
【1月1) 【1月2〕 【1月2〕	O T <u>i</u> me	Options
Data Length		ating variable with a maximum
⊙ Variab <u>l</u> e O <u>F</u> ixed	of of	values
		ОК

設定についての詳細は後述5「フィールドの作成」を参照してください。

アクションの名前付け

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

スペルチェック

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

新しいオブジェクトの挿入

- 新しいオブジェクトをフォーム以外のファイル形式で作成し、挿入する ことができます。
- フォームデザイナー以外のファイル形式(例:bmp、Word図など)
 で作成されたオブジェクトをフォーム上に挿入することができます。
- 注意:オブジェクトの挿入を行う際に、当機能を使用することはお奨め できません。なぜなら、会社のロゴなどを挿入する場合に挿入する 時の大きさが指定できないからです。また、挿入してからロゴなど の大きさは変更できますが、縦・横の比率を無視しての変更になって しまいます。会社のロゴなどは縦・横の比率は決まっていると思い ますので、ロゴなどの挿入は後述6-8「ロゴの挿入」を参照し 行ってください。

リンク

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

オブジェクト

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

ロック

- 作成したレイアウト / フィールドを固定することができます。 詳細につきましては後述6 - 2「オブジェクトの固定(ロック)」を参照 してください。 <表示>

Paper Color

- 下記画面により用紙全体の色の設定ができます。

色の設定 2 🔀
基本色(B):
作成した色(<u>C</u>):
色の作成(<u>D</u>) >>
OK キャンセル

Show Objects

 - 当機能をチェックする / しないで、フォームデザイナー以外のファイル 形式(例:bmp、Word図など)で作成されたオブジェクト(ロゴ など)を表示 / 非表示にすることができます。

Toolbar

- 当機能をチェックする / しないで、下記の画面のようにツールバーを 表示 / 非表示にすることができます。

🎽 2ァイル 編集 表示 ページ 図形の調整 配置 オフシシェクト テーブル ウィンドゥ ヘルプ ▶ ┢ 🖶 🐰 🖻 🖻 🗠 ∽ 🛩 🍼 🎒 🖻 🔍 🍳 8 (ツールバーを表示)

	1 271N	編集	表示	∆°−ÿ°	図形	の調整	配置	オブジ	ጉሥ	デーブル	<u> </u> クィントウ	- <u>1</u> 17	•	
	0	10	20	130	40	150	60	70	80	90	100	1110	120	13
(ツールバーを非表示)														

Object Toolbar

- 当機能をチェックする / しないで、下記の画面のようにオブジェクト ツールバーを表示 / 非表示にすることができます。

(オブジェクトツールバーを表示)

218 • Page 1 /

Ready

(オブジェクトツールバーを非表示)

Status Bar

- 当機能をチェックする / しないで、下記の画面のようにステータスバー
 表示 / 非表示にすることができます。

•

•

110 • Page 1 /

Ready

(ステータスバーを表示)

Page 1	•
🏨 スタート 🗌 📢 🍋 🏹 📝 📜 👹 🗶 Diễ Diễ Diễ 😌 🖭 🍿 🕽	🗙 🔟 🎆
(ステータスバーを非表示)	

Scale

- Actual Size
 - Sec.
 <th 90 100 118 120 150 140 155 160 170 180 190 5 受注醒認書 R10 | * | R | 0 福泉県知られたきまでに務かり早く通知中し上げます。 町 1 60: 70 3.5 A.* ---... 901 105 e. Lug the Page 1 1.01 N MORE SIGN ARADOCHNO 「山酸白豆豆は二
 - 用紙サイズにて作成中フォームを画面に表示します。

- Size to Fit
 - 画面サイズに全体が表示できるように縮小表示します。



- Zoom In
 - 作成中フォームを拡大表示します。

画面上部の下記アイコンと対応します。						
🎽 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t]						
🗾 Zァイル 編集 表示 ページ 図形の調整 配置 オフジェクト テーブル ウィンドウ ヘルプ						
lo 110 120 130 140 1 50 160 170 180 190 1100 1110 1120	1					
Zomm In (拡大)・アイコン						

- Zoom Out
 - 作成中フォームを縮小表示します。
 - 画面上部の下記アイコンと対応します。

🎽 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t]			
🎽 2ァイル 編集 表示 🧐ージ 図形の調整 配置 丸フジェクト	デーフル	<u> 2</u> ィンドウ	∆l/7°
	?		
lo 110 120 130 1 <u>40 150 160 170 180</u>	190	1100 11	10 120 1

Zomm Out (縮小)・アイコン

注意:Scale機能を使用して、作成途中のフォームを縮小 / 拡大表示を 行うと、既に配置されたレイアウト / フィールドが微妙にズレる 事があります。

フォームデザイナーの縮小 / 拡大がシステム規定値(未公開かつ変更 /設定不可)により等倍率で行われます。

配置されたフィールド / レイアウトの座標を等倍率で乗算、減算できない場合は、フォームデザイナーが自動調整を行い、配置を行ってしまいます。

<u>フォーム作成中は、Scale機能は「Actual Size」を使用することを</u> <u>お奨めします。</u> <ページ>

追加

- 1つのフォーム・ファイルに新しいフォームデザインシートを *最後*に追加します。



(フォームデザインシートの追加)

21A ▶ \ Page 1 \ íß°¼₽ 1 /	
	P
Production of the second s	

Ready

追加した新しいフォームデザインシートは文字化けします。 これにつきまして、後述の「名前の変更」機能の参照をお願い します。

挿入

 1つのフォーム・ファイルに新しいフォームデザインシートを 選択されているフォームデザインシートの<u>
直前</u>に追加します。

追加した新しいフォームデザインシートは文字化けします。 これにつきまして、後述の「名前の変更」機能の参照をお願い します。

削除

- 選択されたフォームデザインシートの削除を行います。

名前の変更

- 新規に作成されるフォームデザインシートのシート名は文字が化けて
 表示されます。これは、現時点では日本語対応されていないためです。
 シート名はWilCommの処理(出力)では、影響はありません。
- フォームデザインシートのシート名の変更が可能です。

Rename Page	×					
<u>N</u> ew Name:	ОК					
<u>^*->*1</u>	Cancel					
	7					
日本語を央語に変え	ර					
Rename Page	×					
<u>N</u> ew Name:	ОК					
Page1	Cancel					
[OK]ボタンを押す						

シート名が正しく表示されます。

- ジャンプ
- 複数のフォームデザインシートが存在する場合のみ機能します。
- 指定されたページのフォームデザインシートへ遷移します。

Image 1 (Page 2 (Page 3 (Page 4 / ab Image 1 (Page 2 (Page 3 (Page 4 / ab Image 1 (Page 2 (Page 3 (Page 4 /						
Goto	OK ancel					
(遷移したいペーシ	ジを指定します。)					
▲ ▶ \ Page1 (Page2 \ Page3 (Page4 / ab □ ⊠ ● 🖼 🖽 🖾 Ҏ Αα ⊂	シートの一番左が1ページ目です。 順に2,3,…ページとなります。					

<図形の調整>

選択

- レイアウト(オブジェクト)/フィールドをクリックすることにより選択します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



編集

- 単一フィールドを作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



ボタン

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

- 画面下部の下記アイコンと対応します。





- チェックボックス
- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



チェックボックス・アイコン

- ラヂオボタン
- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



コンボボックス

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



コンボボックス・アイコン



詳細は後述5「フィールドの作成」を参照してください。

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



- パワーデザイナー
- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



署名

Static Text

- テキスト (見出し)・フィールドを作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



テキスト(見出し)・アイコン 詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。

Eiiipse

- オブジェクト (図): 円を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。

k abl 🗆	
Ready	



Round Rectangle

- オブジェクト (図): 四角 (角なし)を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



オブジェクト(図):四角(角なし)・アイコン 詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。 Rectangle

- オブジェクト (図): 四角を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



オブジェクト (図): 四角・アイコン 詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。

Constrained Line

- オブジェクト(図): 直線を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。

k abl 🗆	
Ready	

オブジェクト(図): 直線・アイコン 詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。

Line

- オブジェクト (図): 斜め線を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。



詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。

Polygon

- オブジェクト(図):ポリゴン線を作成します。
- 画面下部の下記アイコンと対応します。

Ready	

オブジェクト (図): ポリゴン線・アイコン 詳細は後述4「レイアウトの作成」を参照してください。 <配置>

Align

- 複数オブジェクト / フィールドを基準となるオブジェクト / フィールドに 位置を合わせることができます。

詳細は後述6-1「複数オブジェクトの配置/サイズの均等」を 参照してください。

配置 オフジェクト テーフル	<u>ウィンドウ ヘルフ</u>	
Align Even Spacing		田泠いナねち笠にち甘港レーブ
Same Size		「素塗りされに固所を基準として」 位置を自動で合わせます
<u>T</u> ab Order Ctrl+T		
<u>G</u> rid		
	■ ⊕⊖⊕⊕	

注意:フォームデザイナーで作成されるファイルの拡張子は 「F3t」です。このファイルをダブルクリックして フォームデザイナーを実行すると当機能は使用できません。 <ダブルクリックした場合>

Align 🕨	=[
Even Spacing	
Same Size	=F
<u>T</u> ab Order Ctrl+T	=ľ
<u>G</u> rid	_

Even Spacing

- 複数オブジェクト / フィールドを基準となるオブジェクト / フィールドを 基にオブジェクト / フィールドの間隔を等間隔にすることができます。

詳細は後述6-1「複数オブジェクトの配置/サイズの均等」を

参照してください。

配置 オフジェクト テーフル	<u>.</u> 2121-91 (112-112)	
<u>A</u> lign ►		
_ <u>E</u> ven Spacing →		
Same Si <u>z</u> e 🕨 🕨	+	黒塗りされた箇所を基準として
<u>T</u> ab Order Ctrl+T		間隔を自動で等間隔にします
<u>G</u> rid	י 'צ' ו	

注意:フォームデザイナーで作成されるファイルの拡張子は 「F3t」です。このファイルをダブルクリックして フォームデザイナーを実行すると当機能は使用できません。 <ダブルクリックした場合>

配置	オフジェクト	デーブル	_ クイント
<u>A</u> ligi	n	•	
<u>E</u> ver	n Spacing	Þ	
Sam	e Si <u>z</u> e	•	<u>bc</u>
<u>T</u> ab	Order	Ctrl+T	
<u>G</u> rid.			

Same Size

- 複数オブジェクト / フィールドを基準となるオブジェクト / フィールドを 基にオブジェクト / フィールドの大きさを合わせることができます。

詳細は後述6-1「複数オブジェクトの配置/サイズの均等」を

参照してください。

配置 オンジェクト テーフル	<u>.</u> 2721°D <u>1</u> 17°	
Align •		
Even Spacing		里涂いさわた笛斫を其進として
Same Size 🔹 🕨	_≞,→ ≣	
<u>T</u> ab Order Ctrl+T		大きさを自動で合わせます。
<u>G</u> rid	∎₀Ŭ→∎ɑɑ	3

注意:フォームデザイナーで作成されるファイルの拡張子は 「F3t」です。このファイルをダブルクリックして フォームデザイナーを実行すると当機能は使用できません。 <ダブルクリックした場合>

配置	オフジェクト	テーブル	24
<u>A</u> ligr	า	•	
<u>E</u> ver	n Spacing	+	Ι,
Sam	e Si <u>z</u> e	•	=[
<u>T</u> ab	Order	Ctrl+T -	Ē
<u>G</u> rid			

Tab Order

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

Grid

- フォームデザインシート全体にグリッドラインを表示することができます。
 表示されるグリッドラインの幅、高さを設定します。
- オブジェクト / フィールドの移動がグリッドラインを基準に、グリッド ライン間隔で行うことが可能です。



グリッドライン間隔でオブジェクト / フィールドの移動が 可能になります。

詳細は後述6-1「複数オブジェクトの配置/サイズの均等」を 参照してください。

注意:<u>用紙のマージンがZEROの場合は、当機能は機能しません。</u> (用紙マージンについては後述3「新規フォームの作成」を参照) <オブジェクト>

プロパティ

- オブジェクト / フィールドを選択し、当機能を実行するとプロパティーの 編集が可能です。

詳細は後述4「レイアウトの作」、5「フィールドの作成」を参照して ください。

グループ化

- 複数のオブジェクト / フィールドを選択し、当機能を実行すると
 複数のオブジェクト / フィールドがグループ化されます。
 詳細は後述6 - 4「複数オプジェクトの一括コピー / 移動」を参照してください。

グループ解除

- 上記"グループ化"でグループ化されたものを、解除します。 詳細は後述6 - 4「複数オブジェクトの一括コピー/移動」を参照して ください。

最前面へ移動

- 複数のオブジェクト / フィールドが重なりあっている場合に、選択した オブジェクト / フィールドを最前面に移動します。

最背面へ移動

- 複数のオブジェクト / フィールドが重なりあっている場合に、選択した オブジェクト / フィールドを最背面に移動します。

前面へ移動

- 複数のオブジェクト / フィールドが重なりあっている場合に、選択した オブジェクト / フィールドを前面に移動します。

背面へ移動

- 複数のオブジェクト / フィールドが重なりあっている場合に、選択した オブジェクト / フィールドを背面に移動します。 <テーブル>

行

詳細は後述5「フィールドの作成」を参照してください。 ・挿入

- 選択されたテーブルに行を挿入します。
 (PF11キーが同一機能をサポート)

・削除

- 選択されたテーブル内で、選択された行を削除します。

・ヘダー

- 選択されたテーブルの行見出しを表示します。 (チェックを外すと行見出しは非表示になります)

	•	В	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				

(チェックを外す)

*	В	C	D

・高さ

- 選択されたテーブル内で、選択された行の高さを指定(入力)すること ができます。

Row Height		×
<u>R</u> ow Height:	Millimeters	ОК
		Cancel

・均等

- 選択されたテーブル内の、全ての行の高さを均等にします。

・グリッドライン

- 選択されたテーブルの行のグリッドラインを表示します。 (チェックを外すとグリッドラインは非表示になります)

	•	В	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				

(チェックを外す)

	в	C	D
1			
2			
3			
4			
5			
6			

列

詳細は後述5「フィールドの作成」を参照してください。

・挿入

- 選択されたテーブルに列を挿入します。

(PF12キーが同一機能をサポート)

・削除

- 選択されたテーブル内で、選択された列を削除します。

・ヘダー

- 選択されたテーブルの列見出しを表示します。 (チェックを外すと列見出しは非表示になります)

	•	В	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				

(チェックを外す)

1		
2		
3		
4		
5		
6		

・幅

- 選択されたテーブル内で、選択された列の幅を指定(入力)すること

ができます。

Column Width					X
<u>C</u> olumn Width	Millim	ieters		OK	
			C	ancel	

・均等

- 選択されたテーブル全ての列の高さを均等にします。

・グリッドライン

- 選択されたテーブルの列のグリッドラインを表示します。 (チェックを外すとグリッドラインは非表示になります)

	•	В	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6	Ĭ			

(チェックを外す)

	в	C	D
1			
2			
3			
4			
5			
6			

<ウィンドウ>

重ねて表示

- 複数開いたフォームが下記画面のように表示されます。



ここでは、テストフォーム1とテストフォーム2が開かれています。
並べて表示

- 複数開いたフォームが下記画面のように表示されます。



ここでは、テストフォーム1とテストフォーム2が開かれています。

アイコンの整列

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

開いているフォーム

- 現在、開いているフォーム名がリストされ表示されます。

<ヘルプ>

内容

- ヘルプの内容が表示されます。ただし、現在のバージョンは英語で表示 されます。

検索

- ヘルプの内容を検索できます。ただし、現在のバージョンは英語で表示 されます。

ウィルフォームについて

- フォームデザイナーのバージョンが確認できます。 最新のバージョンは、「F3 Forms Designer R3.11」です。

3.新規フォームの作成

作成するフォーム(専用帳票)の用紙サイズの設定を行います。 [ファイル]/[フォーム設定]を実行します。

<u>タブシート[Form Setup]</u>

Form Setup Form Setup アクション	×
Paper Type	Dimensions 210.058 × 296.926
Margins Top 5.08	Measurement Units Millimeters
Bottom 3.81 Left 5.08	Print Data Only Orientation
Right 7.112	C Landscape
Help File	Browse
ОК	キャンセル 道用(企) ヘルプ

Paper Type

- 作成するフォーム(専用帳票)にあった用紙サイズを矢印ボタンを 押して選択します。

Paper	Туре
A4	•
A2	
A3	
A4	
A5	
HD A	
64	-
00	

使用可能な用紙サイズは上記の通りです。

上記に存在しない用紙サイズを指定する場合(例:ストックフォーム) は、上記画面をスクロールし「Custom」を選択します。

	_
Custom	•
Broad Sheet	
Custom	

Dimensions

- 用紙サイズが下記の場合は、既に設定されている用紙寸法が表示され ます。(入力不可)

Paper Type	
A4	•
A2	_
A3	—
A4	
A5	
A6	
B4	
B5	<u> </u>

- 用紙サイズが下記(Custom)の場合は、作成する用紙の寸法を 指定(入力)します。

2 - F - 1 - 7 F -	
Custom	•
Broad Sheet	
Custom	

Margins

- 上・下・右・左の用紙の余白を設定します。

– Margins — Top	5.08
Bottom	3.81
Left	5.08
Right	7.112

注意:用紙の余白は、プリンターによっての印字可能領域によって 変わります。

また、FAX送信にて使用する場合は、プリンターへの出力した 場合の余白と異なる事に注意してください。

上記で説明した2「フォームデザイナー・メニュー / アイコンの説明」 の配置メニューのGridを使用する場合は、余白は ZERO より大きな 値を設定してください。 Measurement Units

- フォーム (専用帳票)の設定単位を、矢印ボタンを押して選択します。



一般的には、Missimeters(ミリメートル)Inches(インチ)が使用されます。

Print Data Only

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

🦳 Print <u>D</u>ata Only

Orientation

- 用紙の縦向き / 横向きを指定します。



Help File (Browse ボタン)

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

Help File Browse...

<u>タブシート[アクション]</u>

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

【フォーム作成での注意点】

WilCommでは、スプールファイルの1ページ毎に、どのフォーム (専用帳票)を使用し、処理をするのかを定義します。 このため、1つのフォーム・ファイルに格納されるフォーム(専用帳票) は原則1フォーム(1フォームデザインシート)となります。

例)スプールファイルの全ページが一つのフォーム(専用帳票)を使用



例)スプールファイルには表紙、明細というように印字され、各ページで それぞれのフォーム(専用帳票)を使用する場合



例) スプールファイルの1ページ毎に、<u>必ず</u>体裁の違うフォームを複数 種類印字(出力)する場合



4. レイアウトの作成

図形や罫線、テキスト(スプールファイルから印字しないデータ)を 配置/作成を行います。

図形 / 罫線、テキストの配置 / 作成

各種アイコンを選択(クリック)し、配置/作成したい箇所にカーソル をあわせ、ドラックすることにより図形/罫線、テキストの配置/作成 を行います。



テキストの入力(新規作成)

テキスト(見出し)・アイコンを選択(クリック)し、配置/作成したい箇所にカーソルをあわせ、ドラックすることによりテキストの 配置/作成を行います。

🖉 WilComm F	orms Designe	- (72)-28	-41.63()				
22111 题	第二 赤毛 二	レーン 図形	の問題 記載	力学的	2-7%	2019	34.7*
	3 00 00	107 234	* @ 03	QQ	8		
0, 10	20 3	0 40	50 60	70 80	1 90	100	110 11
10:				***************************************			
20-							
K-M =							
30							

次に、表示(印字)させたい内容をキーボードより打鍵し、設定します。



違う領域にカーソルをあわせ、クリックすることにより打鍵した内容が 設定されます。

🎽 W	/ilCom	m Forms	s Desig	ner – [5	えトフォ	·-Д1.f8	3t]					
2	2711	編集	表示	_ <u>∆</u> °−9°	図形	の調整	配置	オプジュ	小力	シーフル	ウィンドウ	∆1/7°
D	B I	*	肁 (2 🗠	C4	** €	3 E	୍€	1	·]		
	0	10	20	30	40	50	60	70	ξΟ 	90	100	110 12
0 =	,											
		R T T		+(22-5-)					_			
10=		×±1		IÆR)								
20=												

テキストの入力(変更)

変更したいテキストの領域を選択(クリック)します。

WILComm Forms Designer - [JKP/JF-G I.Tat]	
🎽 Zァイル 編集 表示 ☆ージ 図形の調整 配置 オフジェクト テーブル ウィントウ :	₩7°
DEE XBB > ~ VSE QQ ?	
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 11	0 120

< < 変更方法1 > >

この状態で、再度設定したい内容を直接、打鍵 / 入力します。

🎽 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t]	
🎽 2ァイル 編集 表示 ページ 図形の調整 配置 丸フシ	ኈንኑ ፳−7ʹル ሷለጋՒኘን <u>∿</u> ルን°
	£ ?
0 10 20 30 40 50 60 70	80 90 100 110 12
<u> </u>	
 10コ 注文書(お容様控え)	1
20=	
< < 変更方法 2 > >	

変更したい、テキストの領域を、<u>ゆっくり</u>ダブルクリックし、入力 モードにし、入力します。

🎽 WilComm Forms Designer - [テ;	ストフォーム1.f3t]		
🎽 2ァイル 編集 表示 ページ	図形の調整 配置	オフジェクト テーブル	<u> </u>
	~ * 8 E	QQ ?	
0 10 20 30	40 50 60	70 80 90	100 110 120
0 =			
10- 10- 20-			

フォームデザイナーがご認識をし、後述いたしますプロパティーが 表示されてしまうケースがあります。 図形 / 罫線の線の種類やテキストの文字のフォントなどの設定 フォームデザイナーで作成される図形 / 罫線、テキストの全てに対して プロパティーがあります。

- < < プロパティーの呼び出し方その1 > >
 - ・該当の図形 / 罫線やテキストをダブルクリックすると自動で
 呼び出されます。
- < < プロパティーの呼び出し方その2 > >
 - ・該当の図形 / 罫線やテキストを選択し、マウスを右クリック し、呼び出します。

切り取り 捜写 削除 プロハティ	
オブジェクト(<u>O</u>)	ĺ

- < < プロパティーの呼び出し方その3>>
 - ・該当の図形 / 罫線やテキストを選択し、[オブジェクト]メニューから呼び出します。

【図形 / 罫線のプロパティー】

タブシート " 色 "

(直線や斜め線の場合は、このタブシートは非表示になります。)

前景			128
3D-効果 の 18年	C #X	7°Ut'a-	
C. 14294	C 石碑		

- 前景、背景とありますが、前景のみが機能します。

- 3 D - 効果は将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"境界線"

b 境界線 表示		
派界線	2(7*	
Border		
	£ .	

- 図形の罫線の線種類を選択 / 設定します。
- 図形の罫線の線の色を選択 / 設定します。

WilCommでは当画面に表示されている線種類のみ設定可能です。 ここで表示されている以外の線種類を指定する場合は、Wordなど で図形(罫線)を作成し、その図(罫線)をフォーム上にコピー して使用します。詳細は後述6-8「ロゴの挿入」を参照して ください。 タブシート"表示"

x	121952	Millimeters	Width	49.479	Millimeters	
Y	34.137	Millimeters	Height	18.770	Millimeters	
Y	Visible					

- 配置位置の座標、幅・高さを設定します。
- Visible は表示 / 非表示の設定です。 チェックあり:表示、チェックなし:非表示

【テキストのプロパティー】

タブシート"Font"

ont IS UI Gothic	Normal 8	
MS Serif MS UI Gothic	Normal Balic 9 Bold Bold Italic 11	
Effects Strikeout	Preview	
Textcolor	AuBbOcXicriyZz	

- Font : テキストのフォントを選択/設定します。 WilComm が導入されている PC Server に存在 しないフォントは使用しないでください。
- Outline :文字の太さや体裁を選択/設定します。 Normal...通常の太さ Italic...斜め文字 Bold...太字 Bold lalic...太字/斜め文字
- Size :文字のサイズを選択 / 設定します。

注意:画面に表示されないサイズ(7以下)も 設定する事は可能です。ただし、各種設定 の後(違うタブも含む) 最後に Size の 設定を行い、[OK]を押すようにして ください。 - Effects : 文字に線を引きます。 (Strikeout をチェック)

注文者	\$(E	注控え	.)	

(Onderline をチェック)

注:	文書	(自)	社控	<u>え)</u>	

- Textcolor
- : 文字の色を選択 / 設定します。



- Preview : 設定された内容のプレビューが表示 されます。 タブシート"色"

前果			音楽	⊽ 透過	
3D-効果 @ 通常	C 挿入	7°2t'=-			
C L /alls	C 7588				

- 前景、背景とありますが、前景のみが機能します。

- 3 D - 効果は将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

- 透過 : テキスト領域の色の透過を設定します。



タブシート"境界線"

ont 色 境界線 52.5	t 表示	
须界線	20*	
[111] 左		
T T		

- 境界線

: テキスト領域の罫線を下記のタイプより 選択 / 設定します。



この状態は、線種類 が未設定を表します。 印字(出力)した際 、印字(表示)され ません。

- タイプ : 線種類を選択します。

WilComm では当画面に表示されている線種類のみ設定可能です。 ここで表示されている以外の線種類を指定する場合は、Word など で図形(罫線)を作成し、その図(罫線)をフォーム上にコピー して使用します。詳細は後述6-8「ロゴの挿入」を参照して ください。

- 色: 線の色を選択 / 設定します。

タブシート"配置"

C 不明	C 748	
(• 医詰切)	○ 上備え	
C 中央議え	○ 中央議え	
で石詰め	C Finz	
☞ 包み込み □	自動型な	
こう 入力許可 に	自動スカロール	

- 水平方向 : テキスト領域中に打鍵(入力)された文字列
 をどのように配置するか選択/設定します。
 (不明は選択しないようにしてください)
- 垂直方向 : テキスト領域中に打鍵(入力)された文字列 をどのように配置するか選択/設定します。 (不明は選択しないようにしてください)
- 包み込み、自動サイズ、入力許可、自動スクロール
 : 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
 初期表示値から変更しないでください。

タブシート"表示"

×	(KROOL	Millineters	Width	35.966	Millimeters	
Y	9.779	Millimeters	Height	10.312	Millineters	
P	Veible					

- テキスト領域の配置位置の座標、幅・高さを設定します。
- Visible は表示 / 非表示の設定です。 チェックあり:表示、チェックなし:非表示

テキストの入力の注意

下記の例のように複数行からなるデータ(文字列)をテキスト としてフォームに設定する場合に注意があります。

〒105-0013 東京都港区浜松町1 - 11 - 7 ノーブル第1ビル4F

フォームデザイナーでは、改行キーを用いての改行ができない事に 注意をしてください。

下記のように、一つのテキストフィールドで、高さを十分取り、幅を 調整し、あたかも改行をしているかのように設定ができます。

WilComm Form	13 Designer - (テストフォーム1.13t)
🧱 271ル 編集	表示 ビージ 図形の調整 配置 むジェット エーフル 2パトウ シルフ
	IDE >> ##= QQ %
0 10	20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120
0-	
10	
20-	〒105-0013 東京都港区浜松町1-11-7 ノーブル第1ビル4F
40	

この方法は行と行の間にスペースを埋め込み、フィールドの幅に収まる ように設定をしています。

このフィールドの幅に収まるような折り返しは、フォームデザイナーが 自動で行っています。

<u>この自動折り返しは、出力するプリンタードライバーなどによっては</u> 正しい位置で折り返しされない場合がありますので、フィールドの 幅による自動折り返しは使用しないようにします。 複数行からなるデータ(文字列)の設定は下記のように設定します。



- 1行単位でテキストフィールドを作成します。

- 配置は全て左詰で統一します。

1行1フィールドで定義をします。

5.フィールドの作成

スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する フィールドを作成します。

フィールドには以下の2つがあります。

- 単一フィールド
 スプールファイルから転送されて くるデータが、1行分のみ(スプー ルファイルのX行目のXカラムから Xバイト分)を印字するフィールド です。
- 2.テーブルフィールド
 :スプールファイルから転送されてくるデータが、n行(スプールファイルのn行目からnx行目までのXカラムからXバイト分)を印字するフィールドです。
 転送されるn行とフォームデザイナーのテーブルフィールドのn行の対応はWilCommが行います。

単一フィールドの作成

編集・アイコンを選択(クリック)し、配置/作成したい箇所にカーソル をあわせ、ドラックすることにより単一フィールドの配置/作成を行います。



配置 / 作成した箇所にカーソルを合わせドラッグ

単一フィールドのフィールド名称の設定

- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示) する単一フィールドには、必ずフィールド名称をつける必要があります。
- 単一フィールドは個々にプロパティーを持ち、フィールド名称の他に 文字フォント、サイズ、配置などを設定します。
- < < プロパティーの呼び出し方その1 > >
 - ・該当の単一フィールドをダブルクリックすると自動で呼び出され ます。
- < < プロパティーの呼び出し方その2 > >
 - ・該当の単一フィールドを選択し、マウスを右クリックし、呼び 出します。



- < < プロパティーの呼び出し方その3 > >
 - ・該当の単一フィールドを選択し、[オブジェクト]メニュー から呼び出します。

【単一フィールドプロパティー】

タブシート"Font"

Field Properties		×
Font 色 境界線 配置	コントロール 名前 フィールトオフジョン Actions 表示	1
Eont: MS UI Gothic MS Serif MS UI Gothic	Outline: Size: Normal 8 Italic 9 Bold 10 Bold Italic I 11	
Effects Stri <u>k</u> eout <u>U</u> nderline Textcolor	AsBbCcXxYyZz	
	OK キャンセル	ヘルプ

- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する 際の文字のフォント、サイズなどを設定します。

タブシート"色"



- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する 単一フィールドの前景色(背景色)を設定します。

タブシート"境界線"

Field Properties		1
Font 色	境界線 配置 コントロール 名前 フィールトオフジョン Actions 表示	
· 境界線 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		
	OK キャンセル ヘルプ	

- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する 単一フィールドの境界線を設定します。

タブシート " 配置 "

Field Properties
Fried Properties 文 Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 フィールドオフジョン Actions 表示 水平方向 ● 一 一 ● 一 ●
OK キャンセル ヘルプ

- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する データを単一フィールド領域にどのように配置するかを設定します。

タブシート"コントロール"

Field Properties	×
Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 フィールトオフ ジョン Actions 表示 Control Name	1
Edit Control Checkbox, 1/0 Checkbox, 3d-Effect ComboBox ComboBox, Editable Edit Control Pushbutton	
Read Only	
TriState	
I Enabled	
OK キャンセル ヘルプ	

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート " 名前 "

Fi	eld Pro	perties									×
	Font	色	境界線 配置	אייםאעב	名前	フィールト オン	7°≫∎2 7	Actions 表	赤		
			上の7~14~名— :の7~14~名:	F1							
			変数オフ [®] ション の変数名:								
		使用	可能な変数名: [編集]]								
						ОК		キャンセル	,	ヘルプ	

- 現在のフィールド名	: デフォルト値はF?と表示されます。
	ふさわしい名前を入力します。
	<u>ただし、先頭1桁は半角英数字を使用します。</u>
	(例:I(住所) I(品名)など)
	<u>ここで設定する名前は、実際のスプールファ</u>
	<u>イルから転送されてくるデータの受け渡し</u>
	<u>フィールド(変数)ではありません。実際の</u>
	<u>受け渡しフィールド(変数)は次ページで</u>
	<u>定義します。</u>
	ここで付ける名前は、デザインシート上の
	フィールドの名称になります。
-フォーム変数オフ ^⁰ ション	
現在の変数名	
使用可能な変数名:	現在のフィールド名にふさわしい名前を入力
	したら、以下の[編集]ボタンを押します。

Edit variables for a form		×
New or Selected Variable	称)	
<u>N</u> ew <u>R</u> enam	e <u>D</u> elete	Duplicate
Variable Names I(品目名称)	Data Types ● <u>T</u> ext ○ Nu <u>m</u> ber ○ D <u>a</u> te ○ T <u>i</u> me	 Database <u>V</u>ariable <u>C</u>alculation <u>S</u>ummary <u>O</u>ptions
Oata Length	☐ Repea	ating variable with a maximum values OK

当画面にて、実際のスプールファイルから転送されてくるデータの 受け渡しフィールド(変数)が定義(設定)されます。

- New or Selected Vakiable に上記画面で入力した名前が
 表示(上記画面ではI(品目名称))され、Variable Names に
 入力した名前がリストされます。
- Data Types は、ODBC 経由での処理をしない限り、必ず"Text"を 設定します。スプールファイルから転送されるデータ値が数値で あっても、必ず"Text"となります。
 ODBC 経由での処理の場合は、Database Variable を使用します。
 Number, Date, Time, Calculation, Summary は将来拡張用機能です。
 現時点では機能しません。言い換えるならば、日付編集、時刻編集、カンマ編集などはできないということです。各編集はスプール ファイルの作成時に編集処理を行なうようにしてください。

- ・[OK]ボタン … 入力した名前に間違いがない場合 に押します。(設定の確定)
- ・[Delete]ボタン … 入力した名前にミスがあり、キャンセルを行う場合に押します。
 [OK]ボタンを押して前の処理に 戻り再度処理を繰り返します。
- ・[New]ボタン … 違う名前で受け渡しフィールドを 作成する場合に、新たな受け渡し フィールドを New or Selected Vakiable に入力し、ボタンを押すと新たな 受け渡しフィールドが作成されます。
- ・[Rename]ボタン ... 既にある受け渡しフィールドの名前を New or Selected Vakiable に入力した 名前に変更します。
- ・[Option]ボタン … 後述6 7「WilComm からの出力イメ ージの確認」を参照してください。



Field Properties		×
Font 色 境界線 配置	コントロール 名前 フィールトオフジョン Actions 表示	
7ォーム上のフィールド名 現在のフィールド名:	[(品目名称)	
- フォーム変数オプション	1/2日々狂)	-
使用可能な変数名	I(品目名称)	
	OK キャンセル	Ţ

- 現在の変数名 : 前述で設定(登録)した、スプールファイル から転送されてくるデータの受け渡しフィー ルド(変数)が表示されます。

- 使用可能な変数名 : 前述で設定(登録)した、スプールファイル から転送されてくるデータの受け渡しフィー ルド(変数)の一覧が表示されます。

現在のフィールド名はフォームデザインシート上のフォームです。前述した スプールファイルから転送されてくるデータの受け渡しフィールドが、必ず 現在の変数名に設定(ここにセットされる名前は、使用可能な変数名の一覧 に存在すること)されていることを必ず確認してください。 WilCommの処理では、まず受け渡しフィールドにスプールファイルのデータ を格納します。次に、この受け渡しフィールドに格納されたデータ値を現在の フィールド名に指定された名前にセットします。このような処理により、印字 (表示)が可能となっています。 1つのスプールファイルから転送されてくるデータの受け渡し フィールド(変数)を使用して、この値を複数の箇所に印字(表示) する場合の例

まず、1つ目の現在のフィールド名及びデータの受け渡しフィールド(変数)を作成すると以下のような画面になります。

7まーム上のフィールド名 現在のフィールド名	[(品目:名称)	
- フォーム実験オフジッン		
現在の変数名 使用可能な変数名:		
(SENC)		

次に、2つ目(複数目)の現在のフィールド名を設定します。 下記のように、現在のフィールド名に新しい名前を入力し、 データの受け渡しフィールド(変数)を使用可能な変数名から 選択し、現在の変数名に設定を行います。

フォーム上のフィールド名		
現在のフィールド名	1(品目名称:その2)	
-7#~4实践才7%42		
現在の実数名	[(温目名称)	
使用可能な表動名	10品目:谷桥)	
編集		

このような指定により、一つのデータの受け渡しフィールド (変数)で、複数の現在のフィールド名に同じ値の設定が可能。

タブシート"フィールドオプション"

Field Properties	×					
Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 フィールト・オフ ジョン Actions 表示						
- Advisory messages						
Auvisory messages						
Prompt message						
Help message						
Error message						
- Validation						
Validation expression						
Input Mask						
Output Format						
OK キャンセル	~NJ					

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"Actions"

F	ield Properties		×
	Font 色	境界線 配置 コントロール 名前 フィールドオブション Actions 表示	
	On Click	[Action]	
	Gain Focus	Action	
	Lose Focus	S Action	
		OK キャンセル	ヘルプ

- ODBC経由でPCに存在するデータベース(例:Microsoft Accesss) を設定します。(詳細については、マニュアル「ウィルフォームス Forms Designer Tutorial < 補足説明 > (DES004)」を参照してください。

タブシート"表示"

- スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)する データを単一フィールド領域の表示位置を設定します。

Field Properties	X
Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 フィールトオフジョン Actions 表示	
Geometry X 10312 Millimeters Width 77.012 Millimeters	
Y 10.591 Millimeters Height 8.204 Millimeters	
Visible	
OK キャンセル ヘル	ブ
単一フィールドの領域幅と文字フォント、サイズでの注意

設定/配置された単一フィールドに指定された文字フォント、サイズ を用いて、単一フィールドにスプールファイルのデータを表示させる 場合に、単一フィールドの領域の幅が足りない場合は、予期しない箇所 で文字が切れてしまう事や、高さがある場合は予期しない箇所で、折り 返しが行われてしまうことがあります。 このため、定義する単一フィールドの領域は大きめに設定する事を

お奨めいたします。 実際の表示(印字)され方の確認については、後述6-7「WilComm

からの出力イメージの確認」を参照してください。

テーブルフィールドの作成

テーブル・アイコンを選択(クリック)し、配置/作成したい箇所に カーソルをあわせ、ドラックすることによりテーブルフィールドの 配置/作成を行います。

110 Read	Page1 / ab		2 F Aa O (
テ-	-ブル・アイニ	ענ	選択 (クリック)		
🎽 WilCo	omm Forms Design	er - [テストフォーム	,1.f3t]			
זיב 🎽	ルの編集の表示	△←ジ 図形の調	整 配置 打ジ	シュクト テーブル	<u> </u>	
De	; 🖬 🐰 🖻 f	l 🛛 🖓 🗳		Ð. 🤋		
	10 20	30 40 50) 60 70	80 90	100 110 120	130
10=	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		······································			
=	a a					
20=		L				
=						
30=						
	4					
40						
	5					
1503						
		l	L	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J	

配置 / 作成した箇所にカーソルを合わせドラッグ

テーブルフィールドの初期値として、6行4列のテーブルが作成 されます。

行 / 列の追加、削除や列幅 / 行の高さの設定は前述2「フォーム デザイナー・メニュー / アイコンの説明」の<テープル>の箇所を 参照してください。 テーブルフィールドのプロパティー

- テーブルフィールドは3つのプロパティーを持っています。

- Field Propertiesの呼び出し方
- このプロパティーではテーブル全体の設定を行うことができます。



一番左上のマスをクリックをして、テーブル全体を選択します。
メニュー < オブジェクト > のプロパティーを実行します。

ont: IS UI Gothic	Outline Size Normal 8	
MS Serif MS UI Gothic	Normal B Italic Bold Bold Italic 11	
Effects Strikeout	Preview	
Textraline	AeBoDoXxityZz	
-		

- タブシート"Font"
- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"色"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"境界線"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"配置"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"コントロール"

Field Properties	<u>×</u>
Font 色 境界線 配置	コントロール Names Actions 表示
Control Name Edit Control Checkbox, 1/0 Checkbox, 3d-Effect ComboBox ComboBox, Editable Edit Control Pushbutton Read Only TriState V Enabled	Labels
	OK キャンセル ヘルプ

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"Names"

Field Properties	×
Font 色 境界線 配置 コンロール Names Actions 表示)	
- Form Field Rename	
Current Field name: F1	
Match up Columns to Form Variables	
VariablesColumns / Variables	
Edit	
OK キャンセル ヘルプ	

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"Actions"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"表示"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

Cell Propertiesの呼び出し方

 このプロティーではカーソルの置かれた1つのセル、または
 列見出し/行見出しの設定を行うことができます。
 ここで設定するのは、スプールファイルから転送されてくるデータ (変数)に対してではないことに注意してください。

🎽 WilComm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t] 🎽 2ァイル 編集 表示 🖄ージ 図形の調整 配置 オフジェクト テーフル ウィントウ ヘルフ 🂱 🞒 🖃 ର୍ ପ୍ 💡 90 30 <u>|</u>ξ0_ 100 50 Π |10 20 40 60 70 1110 0 C Ď B x ΊŪΞ 3 20= a , 30= A 40= Ī z 50=

該当の列全体を選択(見出しの箇所をクリック)します。

2	*	B	C	切り取り
a				

次にカーソル位置を選択した列の見出しに合わせ、右クリックします。 (この段階で該当列全体は上記画面のような選択状態ではなくなります) プロパティーを実します。

Cell Properties		×
Font 色 配置 コントロール	表示	
Eont: MS UI Gothic MS Serif MS UI Gothic	Outline:Size:Bold8Bold Italic9Not Bold10Not Italic11	
Effects Strikeout Linderline Textcolor	Preview	
	OK 3	キャンセル ヘルプ

注意:タブシート "境界線"はありません。行見出し、列見出しには境界線を つけることはできません。

タブシート"Font"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。
- 見出しに対しての設定となります。

タブシート"色"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。
 - 見出しに対しての設定となります。

タブシート"配置"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。 - 見出しに対しての設定となります。

タブシート"コントロール"

Cell Properties	×
Font 色 配置 コントロール 表示	1
Control Name Header Header Read Only Read Only TriState V Enabled	C
	 OK キャンセル ヘルプ

- Control Name : "Heder"が表示されます。表示内容は 変更しないでください。

:

- Read Only,Enable :
- -Labels

列見出しが表示されます。この値を変更する

初期値のままで、変更しないでください。

ことにより列見出しを設定します。



タブシート " 表示 "

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

Column Propertiesの呼び出し方

このプロティーでは選択された1列の設定を行うことができます・
 テーブルフィールドも単一フィールドと同様に、スプールファイルから転送されてくるデータ(変数)を印字(表示)するために、
 必ず1列全体としてフィールド名称をつける必要があります。
 このフィールド名称も、このプロパティーで設定を行います。



該当の列全体を選択(見出しの箇所をクリック)します。

メニュー<オブジェクト>のプロパティーを実行します。

Column Properties	×
Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 Column Options Actions 表示	
Eont: Outline: Size: MS UI Gothic Normal 8 MS Serif Italic 9 MS UI Gothic Bold 10 Bold Italic 11	
Effects Strikeout Underline Textcolor	
OK キャンセル ヘルプ	

タブシート"Font"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"色"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"境界線"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート " 配置 "

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"コントロール"

Column Properties		×
Font 色 境界線 配置	コンロール 名前 Column Options Actions 表示	1
Control Name Edit Control Checkbox, 1/0 Checkbox, 3d-Effect ComboBox ComboBox, Editable Edit Control Pushbutton Read Only TriState V Enabled	Labels	
	OK キャンセル	ヘルプ

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"名前"

Column Properties	×
Font 色 境界線 配置 コントロール 名前 Column Options Actions 表示	1
_ フォーム変数オプション	
現在の変数名:]
使用可能な変数名: 【品目名称】	
OK キャンセル	



以下の処理は単一フィールドと同様です。

注意:テーブルフィールドは単一フィールドのような、「現在のフィールド名」 (フォームデザインシート上の名前)はありません。定義される名前全てが 実際のスプールファイルから転送されてくるデータの受け渡しフィールド (変数)になります。

タブシート"Column Options"

Column Properties		×
Font 色 境界線 配置	コントロール 名前 Column Options	Actions 表示
Control Name Edit Control Checkbox, 1/0 Checkbox, 3d-Effect ComboBox, Editable Edit Control Pushbutton Read Only TriState V Enabled	Labels	
	ОК	キャンセル ヘルプ

- 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

タブシート"Actions"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

タブシート"表示"

- 単一フィールドのプロパティーのタブシートと同様です。

____テーブルフィールドの列幅と文字フォント、サイズでの注意

設定/配置されたテーブルフィールドに指定された文字フォント、 サイズを用いて、テーブルフィールドにスプールファイルのデータ を表示させる場合に、テーブルフィールドの列の幅が足りない場合 は、予期しない箇所で文字が切れてしまう事や、列の高さがある 場合は予期しない箇所で、折り返しが行われてしまうことがあります。 このため、定義するテーブルフィールドの列幅は大きめに設定する事を お奨めいたします。

実際の表示(印字)され方の確認については、後述6-7「WilComm からの出力イメージの確認」を参照してください。

6.フォーム作成テクニック集

フォームデザイナーを使用してフォーム(専用帳票)を作成するときの 注意点や便利機能を説明します。

6-1. 複数オブジェクトの配置 / サイズの均等

選択された複数のレイアウト作成で作成された各種オブジェクト(図や テキスト)や、フィールド作成で作成された単一フィールド(<u>テーブル</u> フィールドは除く)を自動で、配置位置、幅、高さを均等にする機能です。

【配置位置を揃える】

例:左端を揃える場合(揃え方の種類は前述2「フォームデザイナー・メニュー/ アイコンの説明」のメニュー: <配置>のAlignを参照してください。)



上記のようなフィールドの配置位置をフィールド1にあわせます。

フィールド3、フィールド2を、シフトキーを押しながら、選択(クリック) します。



最後に、配置位置の基準となるフィールド(例ではフィールド1)を、シフト キーを押しながら選択(クリック)します。



メニュー < 配置 > の A l i g n の 左端を実行します。



フィールド1を基準に左端に揃えられます。

必ず基準となるオブジェクト(例ではフィールド1)は、一番最後に 選択(クリック)されたもの(サイズ変更ハンドルが青のもの)と なります。これは、どの配置位置を使用しても同じです。 【配置間隔の均等】

 例:縦に並んだフィールドの間隔を等間隔に揃える場合(揃え方の種類は 前述2「フォームデザイナー・メニュー/アイコンの説明」のメニュー:
 < 配置 > のAlignを参照してください。)

🎽 WilCo	omm Fo	rms Desig	ner – [J	ストフォーム1.	.f3t]					
🗾 Z71	ル 編	集 表示	<u>∆</u> °−9°	図形の調整	き 配置	むシ	ትታት	デーブル	<u> </u> クィントウ	<u>∆</u> ル7°
DØ		メ 暭 (2 v	Cal BC	8 =	Q	۹.	?		
0	10	20	30	40 50	60	70	80	. 190	100	110 121
								~~~~~~	~~~~~~	
10=										
			フィ	ールド	1					
20=										
303			フィ	ールド	2					
-										
403										
- ^{UC}										
40-										
200			77	<u></u>	3					
70-			/1	<i></i>	0					
-01										
	3									

上記のようなフィールドの配置位置の間隔を等間隔にします。

フィールド3、フィールド2を、シフトキーを押しながら、選択(クリック) します。



最後に、配置位置の基準となるフィールド(例ではフィールド1)を、シフト キーを押しながら選択(クリック)します。



メニュー < 配置 > の E v e n S p a c i n g の 縦 に 等間 隔 を 実行 し ま す。



フィールド1、フィールド2、フィールド3が縦に等間隔に揃えられます。

必ず基準となるオブジェクト(例ではフィールド1)は、一番最後に 選択(クリック)されたもの(サイズ変更ハンドルが青のもの)と なります。これは、どの配置位置を使用しても同じです。 【サイズの均等】



上記のようなフィールドの横幅をフィールド1にあわせます。

フィールド3、フィールド2を、シフトキーを押しながら、選択(クリック) します。



最後に、配置位置の基準となるフィールド(例ではフィールド1)を、シフト キーを押しながら選択(クリック)します。



メニュー < 配置 > の S a m e S i z e の 横幅合わせを実行します。



フィールド1を基準に横幅が揃えられます。

必ず基準となるオブジェクト(例ではフィールド1)は、一番最後に 選択(クリック)されたもの(サイズ変更ハンドルが青のもの)と なります。これは、横幅合わせ、高さ合わせを使用しても同じです。

# 6-2.オプジェクトの固定(ロック)

何らかの操作ミスにより、正確に配置したオブジェクト位置を変えてしまう 事が、フォームデザイン中におこる事があります。

このミスによる配置位置の変更を防止するために、フォームデザイナーでは オブジェクトを固定(ロック)することができます。

【オブジェクトの固定 ( ロック )】



上記のように配置済みのフィールド1、フィールド2、フィールド3を固定 (ロック)します。 シフトキーを押しながら、フィールド3、フィールド2、フィールド1を選択 (クリック)します。



# メニュー < 編集 > のロックを実行します。

編集 表示	_ <u>∆°</u> −9°	図形の調整	配置	
元に戻す		Otrl+Z	Í	
繰り返し		Ctrl+Shift	:+Z	
切り取り		Ctrl+X		
⊒t°−		Ctrl+C		
貼り付け		Ctrl+V		
削除		Del		
全て 選択		Ctrl+A		
変数の編集 アケションの名前付け スペル <u>チ</u> ェック				
新しいオフジェクトの挿入 リンク オブジェクト( <u>O</u> )				
ቧック				



フィールド1~3がロックされます。違う箇所を選択し、フィールド1~3の 選択を解除します。



ロックされたフィールド1~3は選択(クリック)しても、選択ができないよう になります。(ロック状態)

#### 【オブジェクトの固定解除(ロック解除)】



上記のように既に固定(ロック)されているオブジェクトの固定解除(ロック 解除)を行います。

# 固定解除(ロック解除)を行う、該当オブジェクトをダブルクリックします。 (フィールド1をダブルクリック)



固定解除(ロック解除)の確認画面が表示されます。



- [Edit]ボタン: 固定解除(ロック解除)を行い、 プロパティーが表示されます。
- [Unlock]ボタン: 固定解除(ロック解除)されます。

[Cancel]ボタン : 固定解除(ロック解除)要求をキャンセル します。

注意:固定(ロック)は複数のオブジェクトを同時に固定(ロック)する事が 可能ですが、固定解除(ロック解除)は1つのオブジェクトずつの固定 解除(ロック解除)となります。(複数オブジェクトの一括ロック解除 はできません)

## 6-3.単一フィールドのコピー

単一フィールド(詳細は前述5「フィールドの作成」を参照)をコピー して、同じ文字フォント/サイズ、配置で設定されるフィールドを作成 する事ができます。 単一フィールドの現在のフォーム名と現在の変数名(スプールファイルから 転送されてくるデータの受け渡しフィールド(変数))の設定(登録)を 必ず行ってください。(テーブルフィールドも同様です)

単一フィールドをコピーした場合は、以下の手順に従い、現在のフォーム名 と現在の変数名を設定(登録)してください。

Field Pro	operties	×
Font	色   境界線   配置   コントロール 名前   フィールドオブション   Actions   表示	
	- フォーム上のフィールド名 現在のフィールド名: I(フィールド1)	
	フォーム変数わりション 現在の変数名: 「(フィールド1)	
	使用可能な変数名:     I(フィールド1)       [編集]     [編集]	
	OK キャンセル	117

上記のような単一フィールドをコピーします。

コピーされたフィールドのプロパティーです。

Field Properties	3				×
Font 色	境界線   配置	コントロール名前	フィールトオフション	Actions   表示	
 現2	ム上の7ィール・名— 在の7ィール・名:	F1			
	ム変数オブション―― 在の変数名:	バフィール	*1)		
使用	目可能な変数名:	I(フィール	°1)		
	〔編集				
			ОК	キャンセル	ヘルプ

現在のフィールド名はフォームデザイナーが自動で作成したF?が設定 さます。

現在の変数名には、コピー元で設定されていた現在の変数名が設定されます。

現在のフィールド名に新しいフィールド名を設定(入力します。) 現在の変数名の設定(入力)値をBackspaceキーまたは Deleteキーを使用して、削除します。

Field Prop	perties					×
Font	色  境界線  配置	コンロール 名前	フィールトオフジョン	Actions 表示	1	
	- フォーム上のフィールト泡 現在のフィールト泡:	<b>I</b> (フィール)	*2)			
	- フォーム変数オブション 現在の変数名:					
	使用可能な変数名: 編集…	バフィール	*1)			
			ок	キャンセル	ヘルプ	

# [編集]ボタンを押します。

Edit variables for a form		×				
New or Selected Variable	<u> 81)</u>					
<u>N</u> ew <u>R</u> enam	e <u>D</u> elete	Duplicate				
Variable Names	– Data Types –					
I(フィールド1)	⊙ <u>T</u> ext	⊂ Database <u>V</u> ariable				
	O Number	© <u>C</u> alculation				
	⊂ D <u>a</u> te	⊙ <u>S</u> ummary				
	◯ T <u>i</u> me	<u>O</u> ptions				
Data Length          Repeating variable with a maximum of values          OK						

新規単一フィールドの作成時は、Variable Names にフィールドが追加 されていましたが、コピーされたフィールドの場合は表示されない事 に注意してください。 無条件に[OK]ボタンを押します。

Field Prope	erties	X
Font	色  境界線 配置  コントロール 名	前 フィールドオプジョン Actions 表示
	-フォーム上のフィールト治 現在のフィールト治: 「バフィー	ルド2)
	-フォーム変数オフ⁰ョン 現在の変数名:	
	使用可能な変数名: I(フィー [編集]	ルド1)
		OK キャンセル ヘルプ

### 再度、ここで[編集]ボタンを押します。

Edit variables for a form		×
New or Selected Variable	ィールド2)	
<u>N</u> ew R	ename <u>D</u> elet	te Dyplicate
Variable Names	- Data Tupan	
I(フィールド1)	Data Types	
I(フィールド2)		🔿 Database <u>V</u> ariable
	O Nu <u>m</u> ber	C Calculation
	⊖ D <u>a</u> te	🔿 Summary
	◯ T <u>i</u> me	<u>O</u> ptions
– Data Length –		
⊙ Variab <u>l</u> e ⊂ <u>F</u> ixed		values
		ОК

2回目の[編集]ボタンにより、Variable Names にフィールド名が追加 されます。

設定内容確認後に[OK]ボタンを押します。

Field Pro	perties		×
Font	色   境界線   配置	コントロール 名前 フィールトオフジョン Actions 表示	
	- フォーム上のフィールト名 現在のフィールト名:	I(フィールド2)	
	─フォーム変数オプション───		
	現在の変数名	I(フィールド2)	
	使用可能な変数名:	I(フィールド1) I(フィールド2)	
	[編集]		
		OK キャンセル ヘルプ	

これまでの操作により、コピーされたフィールドの現在のフィールド名、 現在の変数名が設定されます。

### 6-4. 複数オブジェクトの一括コピー / 移動

フォームデザイナーで作成される複数のオブジェクトをグループ化する ことによって、複数フィールドを同時にコピー / 移動を行う事ができま す。(グループ化しなくても、複数オブジェクトを選択(シフトキーを押 しながらクリック)しても、一括コピー / 移動は可能です)

【グループ化】



フィールド1、フィールド2、フィールド3をグループ化します。



メニュー < オブジェクト > のグループ化を実行します。

<u>オ</u> ブジェクト デーフ	ዝ  2ለንዮን	1/17°
<u> 2</u> °ロハ°ティー	Alt+Enter	
<u> 2</u> ነルーフ የヒ	Ctrl+G	0 112
グループ領容除	Ctrl+U	ئىلىم_
最前面<移動	Ctrl+Plus	
最背面へ移動	Ctrl+Minus	
前面へ移動	Plus	
背面<移動	Minus	
違う領域を選択(クリック)して、フィールド1~3の選択を解除します。 一旦解除して、フィールド1またはフィールド2またはフィールド3を選択 (クリック)します。



ー度にフィールド1~3が選択されます。この状態でコピー操作や移動操作 が可能です。

注意:グループ化したものをコピーし、コピーされた各オプジェクトの プロパティーを表示する場合は、この後説明します"グループ解除" を行った後に、表示するようにしてください。 グループ化状態のまま、プロパティーを表示した場合に、グループ化 されている複数のオブジェクト中の、どのプロパティーを表示するかは フォームデザイナーが自動で判別します。 そのため、意図したプロパティー以外が表示される場合があります。 【グループ解除】

グループ化されたフィールドを選択します。



メニュー < オブジェクト > のグループ解除を実行します。

Γ	オブジェクト デーフ	ዝ ሷሪነትን :	∆l/7°
	<u>2</u> °በ八°ティー	Alt+Enter	
•	<u> </u>	Ctrl+G	
	21ルーフ 解除	Ctrl+U	للتتل
	最前面へ移動	Ctrl+Plus	
	最背面<移動	Ctrl+Minus	L
	前面<移動	Plus	
	*************************************	Minus	

グループ解除をする事により、オブジェクトーつーつのプロパティーが表示 できます。

ield Properties	the second s
Font 色 境界線 看	記墨  表示
Font MISゴジック To MS UI Gothic そ MS ゴシック	Outline: Size: Bold 14 Bold Balic 10 11 Not Bold 11 Not balic 11
Effects	Preview
Textcolor	AaBbCcXxYyZz

## 6-5.テーブル設定

フォームデザイナーで作成されるテーブル・フィールドには幾つかの 注意点があります。

【行見出し / 列見出し】

行見出し/列見出しの罫線について 行見出し、列見出しのプロパティー(Cell Properties)には、タブシート "境界線"はありません。<u>そのため見出し部に境界線を引くことはできません。</u> <u>また、列見出しと1行目のセルの境界線、行見出しと1列目の境界線は、必ず</u> <u>境界線が引かれます。(線種類の変更はできません)</u>

列見出し / 行見出しに罫線を引く場合は、以下のように行います。

テーブルフィールドを選択し、メニュー < テーブル > の列 / 行のそれぞれに 設定されているヘダーのチェックをはずします。

📕 WilC	omm Forms Designer - [テストフォーム1.f3t]	
זיק2 🎽	(ル 編集 表示 ページ 図形の調整 配置 オフジェクト えーフル タイントウ	<u>∆</u> 1/7°
De	; 🖬 🖀 🛌 🛫 🎒 🖻 🔍 🍳 🤋	
0	10  20  30  40  50  60  70  80  90  100	110 120
EUI		
203		
=		
303		
-		
407		

各列の位置に合わせて、テキストフィールドなどで見出しを作成します。



上記 の作業を繰り返し、行見出し / 列見出しを作成します。 この方法を用いた場合、テーブルフィールドの行・列の境界線で設定された 内容とテキストフィールドなどの境界線の設定を合わせる必要があります。 行見出し / 列見出しの文字の白抜きについて 行見出し / 列見出しは前述したように境界線を指定できません。 行見出し / 列見出しの文字を白抜き、背景色を黒にすることにより、文字を 際立たせることにより、境界線が無くとも、テーブルフィールドのレイアウト が行えます。FAX送信で使用する場合には効果的です。

列見出し / 行見出しを以下のように設定を行います。

テーブルフィールドを選択し、見出しのプロパティー(Cell Properties) を表示します。(下記図は「見出し1」のプロパティー)

	Cell Properties		and the second second	
見出し1	Font 色 配置 :	じねール 表示		
	Eont: MS-Ut Gothic	Qutline:	Size	
	MS Serif T MS LI Gothic	Bold Balic Not Bold Not Balic	9 <b>1</b> 0 11 <b>1</b>	
	Effects F Strikeout F Underline	Preview		
	Textcolor	AeBbCo	XxYyZz	
			OK #45/t	216   416

タブシート"Font"のTextcolorを白を選択します。



タブシート"色"の前景を黒に設定し、透過のチェックをはずします。



## 注意:ここの透過のチェックはテーブルフィールド全体に影響します。 通常のセル(全列や全行に色をつける場合)に色を付ける場合も この透過チェックをはずす必要があります。

🎽 WilCo	mm Form	s Designer	- [テストフォ	ታ	t]				
175 🎽	ル編集	表示 🗠	ージ 図形	の調整	配置	オブジェクト	デーブル	<u> </u> ረረንドウ	<u>∆</u> 1/7°
Dø	Jan		<b>N</b> (24	💱 🖨	) 🖃	ସ୍ୟ	ę		
0	10	20  30	) 40	150	60	70 80	. 190	100	110  1
10=			_			_			
		見出し	В	C	D				
20=	1 2								
 30=	3								
	5					_			
40_	6								
EO									

他のタブシートの設定(または確認)を行い[OK]を押します。

上記 ~ の作業を繰り返し、行見出し / 列見出しを作成します。

【列数について】

 - テーブルフィールドを1列(列幅を最大)で定義し、スプールファイルから 転送されるデータを印字(表示)することが可能です。
 (例:スプールファイルの明細部分などを1列のテーブルフィールドで定義) ですが、このような設定をすることはお勧めできません。何故なら、列に設定 される文字フォント/サイズやスプールファイルデータにより、印字(表示) データの右端がズレる事があります。

明編部

<u>1列でとるのではなく、手間はかかりますが</u> <u>明細項目単位または、区切りの良い箇所で</u> 区切った列数でデザインを行うことをお奨め します。

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5

【行・列のグリッドラインについて】

- 行と列のグリッドラインを使用して罫線を印字(表示)させると、
 ディストリビューションウィザードで指定する「解像度」の指定や
 印刷を行うプリンタードライバーの影響により印字(表示)されない
 ケースがありますので、必ず列全体や行全体のプロパティーの境界線
 で罫線を指定するようにして下さい。

	•	В	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				

ブリッドラインは使用しない。

↓ グリッドラインの設定はメニュー < テーブル > 。
列全体または行全体のプロパティーの境界線で指定する。



主息:列主体よだは行主体で境界線を指定する時、緑が単なる箇所に には注意してください。罫線の印字(表示)結果が指定した線種類 よりも太くなります。

#### 6-6.作成フォームの保管/印刷

フォームデザイナーでは以下の画面モードがあります。

デザインモード : レイアウト作成 / フィールド作成のデザインを行う モードです。



フィラーモード : デザインされたレイアウト / フィールドを実際の印字 (表示)位置で確認を行うモードです。



フィラーモード時のメニュー / アイコンについては、前述2「フォーム デザイナー・メニュー / アイコンの説明」を参照してください。 【作成フォームの保管】

作成された(作成途中)のフォームを保管する場合は、<u>必ず「デザインモード」</u> <u>で行います。</u>

デザインモードで保管されたフォームは、指定(入力)されたフォーム名に 拡張子 "f3t"が付けられ保管されます。

フィラーモードでフォームの保管を行うと、保管されるファイルの拡張子が "f3v"となります。

フィラーモードで保管を行ってしまうと、作成(修正)したフォームのが、 フォームファイル(拡張子が"f3t")に保管されないため、作成(修正) 内容が実際の印字(表示)に反映されません。

逆に拡張子"f3v"を開き、この状態からデザインモードにしても、作成 (修正)された内容は、デザインモードに反映されない事に注意してください。

フォームの保管を行い場合は、必ず"デザインモード"で行います。

【作成フォームの印刷】

フォーム作成のコツは、ある程度のレイアウト作成やフィールド作成が、 できたら、実際にプリンターへ出力し、確認することにあります。

印刷する場合は、必ず「フィラーモード」で行います。

デザインモードから印刷をした場合と、フィラーモードから印刷をした 場合では印刷結果が異なる事に注意してください。

WilComm は処理に必要なフォームを、自動でフィラーモードでフォームを開き、 そこで開かれたフォームが、実際の印刷や送信処理に使用されます。

フィラーモードからの印刷結果がWilCommで処理され印刷、送信された状態です。

注意:このフィラーモードで印刷をするプリンターのプリンタードライバー によって多少の位置ズレが発生します。WilCommを使用して印刷処理を 行う場合は、予め印刷処理で使用されるプリンターを印刷設定し、印刷 /確認をするようにしてください。

フォームの印刷を行う場合は、必ず"フィラーモード"で行います。

6-7.WilCommからの出力イメージの確認

単一フィールド、テーブルフィールドに設定されて文字のフォント/サイズ 、配置等は前述6-6「作成フォームの保管/印刷」で説明した、デザイン モードでは確認できません。 実際の出力された時の文字のフォント/サイズ、配置などはフィラーモード にて確認を行うことが可能です。

【出力イメージの確認:手入力】

WiCom Fore	ns Designer - (5'E)		5-7% A/4% A17			A A X
niesiai	district of		el			
0, 10,	20 30 40	50 60 70 80	. 190 . 1100 . 1110 . 1120 . 115	0 140 150	160 170	180 1190 20
			受注码	1 記書		
105			Ru8 ·   #	A 8	_	
20						
30	6		CHEROESISZ CL	ND OF CALCO	1049.	
40			] [	-		
50-	-					
-						
00-	fax :					
705						
80	K.S	P#4ct	# 8 S P	217 B 2	••	*6
90						
106					S	
I Pag	e 1		1.1	1	1	2
h ati 🗆 🏢		2 PAIOOT				
Ready				31	ARE 5	1

# アイコンをクリックし、フィラーモードにします。



デザインモードで

スプールファイルからデータが転送されるフィールドを選択(クリック)し、 テストデータを直接入力をします。

🌿 WilComm Forms Designer - [Form2]	
🎽 2ァイル 編集 表示 ウィンドウ ヘルプ	
D 2 2 % B C ~ * 5 2 Q Q ? 🚝	
受	注
受注日	:
毎度格別のお	651 đ
<b>〒105-0013</b>	
東京都港区浜松町1-11-7	
ノーブル第一ビル4F	
株式会社ケイ・アイ・エス・エス 様	
fax: email:	

直接入力する事で、スプールファイルから転送されるデータの文字のフォント / サイズ、配置等を確認することができます。



【出力イメージの確認:自動入力】



メニュー < 編集 > の「変数の編集」を実行します。

編集 表示	<u>∆</u> °+9°	図形の調整	配置
元に戻す		Otrl+Z	_
		Otrl+Shift	:+Z
切り取り		Otrl+X	Ļ
<u>]</u> t°-		Ctrl+C	
貼り付け		Ctrl+V	
削除		Uel Otala A	
主し選択		Utri+A	
変数の編集。			
アクションの名前	がけけ…		
スヘッル <u>チェック</u>			
新しいオプジョ	小の挿)	λ	
リンク。			
オブジェクト(@	0		
且ック			ľ

Edit variables for a form		×
New or Selected Variable	33)	
<u>N</u> ew <u>R</u> ena	me <u>D</u> elete	D <u>u</u> plicate
Variable Names	– Data Types –––––	
	⊙ <u>T</u> ext	◯ Database <u>V</u> ariable
I(住所1) I(住所1)	O Nu <u>m</u> ber	C Calculation
I(住所2) I(住所2)	⊙ D <u>a</u> te	C Summary
I(住所3) I(住所33) ▼	◯ T <u>i</u> me	Options
Data Length		ating variable with a maximum
⊙ Variab <u>l</u> e ⊂ <u>F</u> ixed	of	values
		ОК

自動入力を行う変数(スプールファイルから転送されてくるデータの受け渡し フィールド)を、Variable Namesの一覧から選択(クリック)し、Data Types の[Options]ボタンを押します。

Text Options	×
Auto-Entry Validation Valid Values	
Auto-enter an initial text value that is	
• ho automatic entry	
O gata	
OK	

#### タブシート"Auto-Entry"

Text Options					×
Auto-Entry	Validation   Valid	Values			
	– Auto-enter an	initial text value t	that is ———		- I
	⊙ <u>n</u> o aut	tomatic entry			
	◯ the	creator name	<b>T</b>		
	C data				
		1			
			ОК	キャンセル	~JJ/7
			OK	キャンセル	ر الالا

- no automatic entry

・ここにチェックがある場合は、自動入力されません。

-the

・将来機能拡張用です。現時点では機能しません。

- -data
  - ・自動入力する場合は、ここにチェックします。

- Auto-enter an O <u>n</u> o aut	initial text value that is tomatic entry
◯ <u>t</u> he	creator name
⊙ <u>d</u> ata	

チェックをすると入力欄が現れます。ここにデータを入力します。

## タブシート"Validation" - 将来機能拡張田です。現時点では機能しません

- 符木悈能拡張用で9。 現時点で	は筬形しません。
Text Options	×
Auto-Entry Validation Valid Values	
Verify the text field value is ——	
1 FIOT EMPLOY	
	OK キャンセル ヘルプ

## タブシート"Vaild Values"

- 将来機能拡張用です。琈	見時点では機能しません。
---------------	--------------

Text Options			×
Auto-Entry Validation Valid Values			
Database			
Data <u>A</u> ccess	Edit		
<b>_</b>	 ▼ <u>T</u> ables		
Columns			
	ОК	キャンセル	~JIJ

Text Options	×
Auto-Entry Validation Valid Values	
Auto-enter an initial text value that is	
C <u>n</u> o automatic entry	
C the creator name	
<u>OK</u> キャンセル	ヘルプ

## 自動入力データを入力し、[OK]を押します。

Edit variables for a form		2	×
New or Selected Variable	I(住所1)		
<u>N</u> ew	<u>R</u> ename <u>D</u> el	lete D <u>u</u> plicate	
Variable Names I(計) I(月1) I(月2) I(住所1) I(住所1) I(住所2) I(住所3) I(住所33) I(住所33)	■ Data Types — © <u>T</u> ext © Nu <u>m</u> ber © D <u>a</u> te © T <u>i</u> me	<ul> <li>Database <u>Variable</u></li> <li><u>C</u>alculation</li> <li><u>S</u>ummary</li> <li><u>Options</u></li> </ul>	
Data Length ⊙ Variab <u>l</u> e ○ <u>F</u>	ixed R	epeating variable with a maximum values	

[ОК]を押します。



上記で設定された自動入力の値が表示されます。

自動入力を用いた場合は、デザインモードに戻り、再度フィラーモードを 実行しても、設定されている自動入力の値が表示されます。

注意:自動入力の設定は、実際にWilCommで処理する場合も、自動で フォームに印字(表示)されます。 フォーム作成(レイアウト確認)が完了したら、必ず、上記で説明した タブシート "Auto-Entry"の「data」からチェックを外し、 「no automatic entry」にチェックをし直してください。

## 6-8.ロゴの挿入

フォームデザイナーでは、簡単に会社のロゴや社印を Windows の Cut&Paste の 機能を使用して、取込むことができます。

【会社のロゴや社印などの取込み】

会社のロゴや社印などを、一旦 Microsoft Word を使用し、Word 上に取込みを 行います。(Word への取込み方法は、Microsoft が提供しているマニュアルを 参照してください)



Windows の Cut&Paste の機能を使用して、フォームデザイナーへ貼り付けます。

🕌 WilComm Forms Designer - [Form1]
🎬 2ァイル 編集 表示 🗠-ジ 図形の調整 配置 オフシシェクト ラーブル ウィンドゥ ヘルブ
DEB X BB > ~ V BE QQ ?
0   1   2   3   4   4   1   2   3   4   4   1   1   2   1   3   1   1   1   1   1   1   1   1
▲ サイズ変更ハンドル

貼り付けられた位置を変える場合は、ロゴを選択(クリック)し上記画面のような 状態にし、マウス・ドラッグを行い位置を動かします。

注意:会社のロゴなどは縦/横の比率が決まっていると思います。 フォームデザイナーは、貼り付けられたロゴなどのサイズを変更する 場合、サイズ変更ハンドルを使用してサイズ変更を行います。 このサイズ変更ハンドルによるサイズ変更は、縦/横の比率を計算し、 同比率のサイズ変更はできません。 そのため、一旦 Microsoft Word に取込み、サイズ変更を行った後に フォームデザイナーへ貼り付けるようにしてください。

## 6-9. バーコードの作成

フォームデザイナーでは、スプールファイルに印字されているデータを使用してそのデータをバーコードに変換することができます。

注意:制御文字をもつようなバーコードに変換する場合は、その制御文字も スプールファイルに印字されている必要があります。

【バーコードフィールドの作成】

バーコードに変換する元の単一フィールドを作成します。

単一フィールドを作成します。作成方法は前述5「フィールドの作成」を参照 してください。

🎽 WilCo	omm Form	s Desig	ner - [ <del>]</del>	ストフォーム	1.f3t]				
172 🎽	ル編集	表示	<u>∆</u> °−ÿ°	図形の調	整配置	オフジェクト	テーブル	272トウ	∆1/7°
De		, <b>e</b> (		en 💦	8 2	ର୍ଭ	ę		
0	10	20	30	40  50	, 60	70  81	)  90	100	110  120
0 =	*****								
 10= 		·····	···· <b>=</b> ····						

プロパティーを表示し、フィールドに名称及び変数名を設定します。

Field Properties		×
Font   色   境界線   配置	コントロール 名前   フィールトオフジョン   Actions   表示	
7ォーム上の7ィールド名 現在の7ィールド名:	I(バーコード:元)	
- フォーム変数オフ ジョン 現在の変数名:	I() 『ーコード:元)	
使用可能な変数名	I(パーコード:元)	
	閉じる キャンセル ヘ	มว

仮に、バーコード元のフィールドを印字(表示)しない場合は、 タブシート "表示"の「Visible」(表示)のチェックを外します。

F	ield Properties	×
	Font   色   境界線   配置   コントロール   名前   フィールトオフ ジョン   Actions 表示	
	Geometry X 9.779 Millimeters Width 47.904 Millimeters Y 8.737 Millimeters Height 6.604 Millimeters	
	閉じる キャンセル ヘルプ	

[OK]を押して、バーコード元の単一フィールドを作成します。

バーコード・フィールドを作成します。

バーコード・アイコン

バーコードを印字(表示)させる位置にカーソルを合わせ、ドラッグしバーコード フィールドを作成します。



バーコードフィールドのプロパティーを表示します。

Properties				×
パーコードオプション Font 色	名前  表示			
パーコート%/フ° 2 of 5 変形(角度) 0 ▼	水平方向 ○ 左揃え ○ 右揃え ○ 中央揃 ^え	●重直方向 ○ 上揃え ○ 下揃え ○ 中央揃え	追加データ ┃ 数式	
  □ 高さ揃え  ▼ UPC フォント	- <del>7</del> +2ト ○ 上揃え ○ 下揃え ○ 非表示	<ul> <li>ストレッチナキスト</li> <li>コート"390)表示</li> </ul>	メッセージ   数式	
		ОК	キャンセル	ر د ال

タブシート"バーコードオプション"

- バーコードタイプ	:	矢印ボタンを押して、	使用するバーコード
		タイプを選択します。	

- 水平方向 / 垂直方向 : バーコードフィールド領域のバーコードの 配置位置をチェックします。
- 追加データ : 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
   [数式]
- メッセージ : 将来機能拡張用です。現時点では機能しません。
   [数式]
- バー : 必ず、UPCフォントをチェックします。 (初期状態のままにしてください。)

- テキスト

- : バーコードと一緒に、バーコードテキストの 表示 / 非表示を設定します。
  - ・上揃え … バーコードの上にテキスト表示
  - ・下揃え ... バーコードの下にテキスト表示
  - ・非表示 ... テキストは表示しません。
  - ・スレッチテキストをチェックしない場合



・スレッチテキストをチェックしない場合



・コード39の表示は必ずチェックします。

: バーコードの向きを指定します。



<変形(角度):0を選択>



<変形(角度):180を選択>



<変形(角度):270を選択>



<変形(角度):90を選択>



タブシート"Font"

- バーコードのテキストに対する情報を設定します。 テキストフィールドなどのプロパティーと同様です。 詳細は前述4「レイアウトの作成」を参照してください。

タブシート"色"

- バーコードの背景色に対する情報を設定します。 テキストフィールドなどのプロパティーと同様です。 詳細は前述4「レイアウトの作成」を参照してください。
- タブシート"名前"

Properties		×
バーコードオフジョン Font 1色	名前 表示	_
- フォーム上のフィールト名 現在のフィールト名:	I()パーコード)	
- フォーム変数オブション 現在の変数名:	10パーコード:元)	
使用可能な変数名: 編集…		
	OK キャンセル ヘルプ	

現在のフィールド名には、バーコードフィールドの名前を付け、 入力します。

現在の変数名には、上記 で定義した、バーコードに変換する元の 単一フィールドを指定します。

WilCommの処理では、一旦、バーコードに変換する元の単一フィールド にスプールファイルからのデータを展開し、フォームデザイナーが 展開されたデータを基にバーコード変換を行います。

タブシート"表示"

- バーコードフィールド領域に対する情報を設定します。 テキストフィールドなどのプロパティーと同様です。 詳細は前述4「レイアウトの作成」を参照してください。

## 7.マッピング作業事前準備

前述までで、フォーム(専用帳票)の作成が完了したら、次にスプールファイル と作成されたフォーム(専用帳票)の重ね合わせ(マッピング)を定義するため に、フィールド名(転送されてくるデータの受け渡しフィールド(変数) フォームデザイナー上では、「現在の変数名」)の抽出処理を行ないます。

注意:この作業は、マッピング作業が可能なPC(原則WilCommが導入されて いるPC Server)で行ってください。 WilCommが導入されているPC Serverへのフォーム(専用帳票)のコピー 方法は、前述2「フォームデザイナー・メニュー/アイコンの説明」の "名前をつけて保存"の箇所を参照してください。

WilComm が導入されている PC Server にフォーム(専用長方)をコピーした後 に、WilComm が導入されている PC Server でフォームデザイナーを実行します。

該当フォーム (専用帳票)を開きます。

メニュー < ファイル > の「変数の抽出」を実行します。



ファイル名を変えずに、[保存]ボタンを押します。

Export Field Attribute	85		? ×
保存する場所(型:	🔁 Forms	- 🖬 🕂	
@ CSV Master.f3) @ test.f3x @ デモ.f3x @ 現品票.f3x	¢		
, ファイル名( <u>N</u> ):	デモ.f3x		保存(S)
ファイルの種類(工):	Form Export (*.f3x)	•	キャンセル

保存する場所は、必ずフォーム(拡張子がf3t)と同一の場所にしてください。 [保存]ボタンを押すと、拡張子がf3xが作成されます。このファイルはテキ ストファイルなので、メモ帳で開き内容を確認が可能です。(下記参照)

🖉 デモ.f3x - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 検索(S) ヘルプ(H)	
D:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm Universal¥F3Forms¥Forms¥デモ.f3t	<b>_</b>
I (ファックス) I (メール) I (郵便番号1) I (回日番号) I (品目番号) I (品目名称) I(規格) I (数量) I (単位) I (単位) I (価格) I (計) I (住所1) I (住所2)	
I (住所3) I (小計) I (小計) I (消費税) I (総合計) I (諸求書番号) I (拝2)	
I (月2)	
I 〈 ² ² )	-

以上でフォーム (専用帳票)の作成は終了です。

ここまでの作業で、フォームレイアウト情報を含むf3tファイルと、フィールド 名を含むf3xが作成されます。

この2つのファイルは次のステップのフィールドマッパーで使用されます。

フィールドマッパーでは、フォーム上に作成したフィールドと、スプールファイ ル上の項目の関連を定義作成します。

詳細については、マニュアル「フィールドマッパー操作ガイド」を参照してく ださい。